科目名			担当教員	
福祉経営論			高橋　誠一	
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CE4074	2	1	RorSR (講義)	3年以上
生成AI利用レベル		レポート　：　B	試験（スクーリング含む）　：　C	

科目の概要

■科目の内容

これまで社会福祉事業を中心とした福祉分野は、利用者を中心とした福祉サービスへとその提供のあり方が大きく変わってきました。その背景には、地域生活支援・自立生活支援ニーズが高まり、従来の福祉援助の仕組みでは対応が困難になってきたことがあげられます。その結果、福祉サービスの特質に配慮しながらも、増大する福祉サービスのニーズに応えるために、これまでの社会福祉法人を中心とした制度から、特定非営利活動法人（NPO）、民間企業、医療法人などさまざまな法人が事業所を運営して福祉サービスを提供できるように規制が緩和されてきました。

このように、多様な法人によって福祉サービス提供組織が運営されていますが、基本的な福祉サービスは、補助金や社会的保険によって費用のほとんどがまかなわれ、サービス内容が決められています。そこで、利用者と事業者の間の契約を基本としつつも、一般の市場と区別して、福祉サービスは準市場と呼ばれることがあります。したがって、民間企業であっても、福祉サービスの特質を理解して事業を経営する必要があります。また、社会福祉法人では、これまで以上に利用者のニーズに即した事業経営が求められます。

この科目では、福祉サービス提供組織の多様性を理解し、共通して必要となる福祉サービス提供組織の経営について学んでいきます。福祉サービス提供組織の存在理由は、利用者へのサービス提供にあります。利用者を中心とした福祉サービスは、利用者のニーズを理解し、本人や家族、地域の住民と協力して提供していくことが多いので、画一的ではない柔軟なサービス提供が求められます。経営者や管理者は、小規模な事業所以外では、直接利用者にサービスを提供することは多くありませんが、生活支援や介護、相談援助を行う職員を通して利用者に貢献しています。ですから、経営者や管理者は職員が働きやすい環境を作り、人材を育成し、必要な資源や組織環境を整えることが重要な仕事になります。そのためには、利用者中心の理念を明確にし、組織的な事業経営に取り組む必要があります。

■到達目標

１）福祉サービス経営者としての法人の役割を説明できる。
２）職員をサポートしリードしていく管理者の役割を理解し、説明できる。
３）福祉サービスの質を保証し、利用者の選択と意見を取り入れていく仕組みや第三者評価を説明できる。
４）職員の待遇、人材の確保、人材の育成を理解し、説明できる。
５）会計財務管理の基本を理解し、説明できる。
６）経営学の基礎知識を理解し説明できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「開発・創造力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価50%＋スクーリング評価 or 科目修了試験50%

■教科書・参考図書

【教科書】

『新・社会福祉士シリーズ 11 福祉サービスの組織と経営』弘文堂、2024 年

（最近の教科書変更時期）2025 年 4 月

（スクーリング時の教科書）上記教科書を参考程度に使用します。

【参考図書】

教科書の「文献」欄参照

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

福祉サービスの特質を理解した上で、福祉サービスを提供する法人形態を営利、非営利を含め、多面的に理解する。福祉サービス提供組織として利用者をどのように支援していくのか、そのための組織のあり方を学ぶ。利用者に直接関わる職員、職員を支援する管理機能の役割を人事システム、労務管理の視点も含めて理解する。会計の仕組みを理解する。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	福祉サービスにおける組織と経営	福祉サービスと制度
2	福祉サービスにかかわる組織や団体	法人一般、社会福祉法人、特定非営利活動法人、その他の組織や団体
3	福祉サービスの組織の基礎理論	戦略、事業計画
4	福祉サービスの経営の基礎理論	集団の力学、リーダーシップ、モチベーション
5	福祉サービスの管理運営の方法（サービス）	サービスマネージメント、サービスの質の評価
6	福祉サービスの管理運営の方法（人事等）	人事労務管理、人材育成
7	福祉サービスの管理運営の方法（会計等）	会計管理と財務管理
8	質疑応答	補足とまとめ
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

配付資料にもとづいて講義を進めます。

■スクーリング　評価基準

スクーリング試験 100%（持込可）。試験では、とくに到達目標記載内容について理解を問います。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

講義内容の関心あるテーマについて、自分なりに学びたいことを考えてきてください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	福祉サービスにおける組織と経営①福祉サービスにおける組織・経営 (第１章)	「サービス」「経営」といった用語がどのような意味で用いられているのかを押さえたうえで、福祉領域における「サービス」や「経営管理」の特徴を整理し、理解する。	1．福祉サービスという言葉が使われるようになった背景は何か。 2．福祉サービスの特徴は何か。
2	福祉サービスにおける組織と経営②福祉サービスと制度 (第１章)	福祉サービスがどのような環境で、どのような手法を用いて展開されているのかを理解する。	1．準市場は、一般の市場となにが違うのか。 2．福祉サービスを提供する上で、倫理はなぜ重要なのか。
3	福祉サービスにかかわる組織や団体①法人とは、社会福祉法人 (第２章)	1.「法人」の存在意義について述べ、その基本形態について整理する。そして社会福祉に関連する法人にはどのようなものがあり、それぞれがどのような特徴をもっているのかを理解する。 2．福祉サービスの提供にかかわる組織や団体に関して、それぞれの定義や役割を押さえるとともに、各機関の現状や課題について理解する。 3．戦後、わが国の社会福祉サービスの提供主体として大きな役割を果たしてきた社会福祉法人について理解する。	1．法人のメリットは何か。 2. ガバナンスとマネジメントの違いは何か。 3. 社会福祉法において社会福祉法人の役割はどのように考えられているか。
4	福祉サービスにかかわる組織や団体②特定非営利活動法人 (第２章)	特定非営利活動促進法成立後わずか10年余りで４万6,300の団体が認証されるまでになった特定非営利活動法人について理解する。	1．特定非営利活動法人が生まれた背景は何か。 2．認証の仕組みはどのようなものか。
5	福祉サービスにかかわる組織や団体③その他の組織や団体 (第２章)	医療法人、営利法人、公益法人、市民団体、協同組合（農協、生協）、自治会について、それぞれの特徴を理解する。	1．医療法人の法人としての多様性を理解する。 2．各法人の根拠法を理解する。
6	福祉サービスの組織と経営の基礎理論①戦略、事業計画 (第３章)	1．経営を学ぶうえで最低限必となる基礎的な概念、理論について理解する。 2．戦略について、その概念を整理したうえで経営戦略の策定プロセスを具体的に理解する。 3．福祉サービスの戦略を考える際に参考となるいくつかの戦略論も理解する。	1．福祉事業を行う上で、経営理念はどのような役割を果たすか。 2．経営理念を実現するために、どのような仕組みや経営活動が考えられるか。

7	福祉サービスの組織と経営の基礎理論②組織、管理運営の基礎理論 (第３章)	1．事業計画の策定から実行、評価までを、順を追って理解する。 2．福祉サービスを念頭におき、マクロ的な観点の組織論の主要な概念について理解する。 3．管理の目的やその対象について整理し、次に、管理の手法として、PDCA サイクルを理解する。	1．福祉サービスの質とは何か。 2．サービスの質を改善するためにどのような取り組みが考えられるか。
8	福祉サービスの組織と経営の基礎理論③集団の力学に関する基礎理論 (第３章)	集団力学の基本的な理論を理解する。	チームワークにおいてグループダイナミックスを考えることはなぜ重要なのか。
9	福祉サービスの組織と経営の基礎理論④リーダーシップに関する基礎理論 (第３章)	リーダーシップの必要性とさまざまな理論を学び理解する。	1．リーダーシップとマネジメントはどう異なるのか。 2．なぜさまざまなリーダーシップ論があるのか。
10	福祉サービスの管理運営の方法①サービス管理 1)サービスマネジメント、サービスの質の評価 (第４章)	1．マーケティングの基本的な要素である「四つの P」を軸に、サービス管理に必要な基礎的な事項を整理し、 2．サービスの質の向上、利用者のサービス選択のために導入が進められている第三者評価等の「サービスの質」を評価する仕組みについて理解する。	1．福祉サービスにおいて、なぜマーケティングが必要なのか。 2．第三者評価、自己評価の違いは何か。
11	福祉サービスの管理運営の方法①サービス管理 2)苦情対応とリスクマネジメント (第４章)	福祉サービスの提供にあたってのリスクにはどのようなものがあるかを明らかにし、その対処法について具体的に理解する。	リスクに対する、事後的な対応だけでなく、事前の対応を考える必要性は何か。
12	福祉サービスの管理運営の方法①サービス管理 ３) サービス提供のあり方の方向性 (第４章)	これまでの福祉サービス提供の問題点を指摘し、今後の福祉サービスのあり方について理解する。	いま求められている福祉サービスとはどのようなものか、それを実現する方法は何か。

13	福祉サービスの管理運営の方法②人事･労務管理、人材育成 (第５章)	1．人事・労務管理について、一般理論ではなく福祉サービスの視点から学ぶ。 2．具体的には、人材の確保と採用、配置と異動、給与等の待遇と福利厚生、人事考課、労務管理・労使関係管理といったテーマについて、それぞれ福祉の職場の特徴を踏まえて、その目的や内容を理解する。 3．人材育成の意義と必要性、OJT やOFF-JT、SDS の手法を理解する。	1．雇用する側、雇用される側それぞれの立場から、人事管理を考えると、どのような違いがあるか。 2．福祉における人材確保の問題は何か、どのような施策や支援が行われているか。
14	福祉サービスの管理運営の方法③会計管理と財務管理 (第６章)	企業とは異なる特殊な性格を有する社会福祉法人の財務管理の考え方を解説し、財務管理の基礎となる情報である財務諸表の概要とその見方・使い方を習得することを目的とする。	1．基本的な財務諸表は何か 2．貸借対照表と事業活動収支計算書の違いは何か。
15	福祉サービスの管理運営の方法④情報管理と戦略的広報 (第７章)	超高齢社会の到来、高度情報社会の進展に伴い変革する福祉サービスのあり方を踏まえ、事業経営における情報の活用、利用者への情報開示、個人情報の保護、パブリック・リレーションズについて理解する。	個人情報保護と情報開示がなぜ必要とされるのか。

■レポート課題

1 単位め	利用者中心の福祉サービスの提供を実現するために必要と考えられることを述べよ。
2 単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

【1 単位めアドバイス】

利用者中心の福祉サービスとは何かを考えてください。利用者中心は利用者本位、利用者主体と呼ばれることもあります。利用者中心の福祉サービスを考えるために、そうではない場合、すなわち提供者中心の福祉サービスを考え、対比すると、はっきりすると思います。一般のサービスでは、消費者主権という言葉が使われますが、これは利用者中心と同じでしょうか。ここでは、直接サービスを提供する職員の立場だけでなく、福祉サービス提供組織の経営者の立場からも考えてください。どのような理念や事業経営が必要になるでしょうか。

【2 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

科目修了試験

■評価基準

内容を理解した上で書かれているかを重視しますが、キーワードが書かれており、適切に使用されているか、を評価します。